

造園技術の向上

大阪府立園芸高等学校
環境緑化科 造園施工部

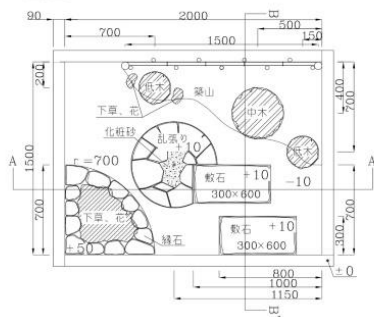
1. 目的

「若年者ものづくり競技大会」および「技能五輪全国大会」に出場して入賞すること。

2. 内容

大会の課題にある「敷石施工」「石割施工」「竹垣施工」「花壇施工」などの練習に取り組む。今年度の課題では「石英石の板石による乱張り」「ごろた石による縁石花壇」「御影石のごろた石による敷石」が課題として出され、材料を各地から取り寄せた。また、延石の加工において所有している道具だけでは難しく、新たに道具を購入した。制限時間内に見栄えよく施工するために、効率よく作業をすすめる必要があり、日々練習に励んだ。

平面図



▲若年者ものづくり競技大会の課題平面図

▲競技中の様子

3. 結果

若年者ものづくり競技大会では入賞はできなかった。技能五輪に関しては 2 人大会で選手がそろわず出場はできなかった。しかし生徒の造園にかかる熱量は増し、池田市細河地区で開催された「ボタフェス」では庭園施工技術の実演および庭園の展示に取り組み、地域の方へ日頃の学習成果を披露することができた。

今年度は卒業生による指導や他校との合同練習会、国際大会なども指導されている方によるご指導などの機会をいただき、外部とのつながりも増え、練習環境が整い、選手と我々教員の造園に対する視野が広がった。来年度も出場と入賞を目指し引き続き造園技術の向上に取り組んでいきたい。



▲若年者ものづくり競技大会の完成した課題



▲ボタフェスの庭園